

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまに愛される
高機能病院として
がんばります。
何なりとご相談ください。



開院20周年を迎えて

院長 浦尾 正彦

順天堂大学練馬病院は、このたび20周年を無事迎えることができました。これもひとえに関係医療機関、行政各位、患者さんのご支援とご協力のおかげでございます。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



さて、当院は開院当初より救急・災害、小児・周産期、がん治療の重点医療機関として診療を続け、コロナ禍においても中心的に地域医療を守ってまいりました。

2020年には病院再編として、外来棟の開設、病床を490床に増床し、より多くの患者さんを受け入れられるようになりました。また、2022年には地域周産期母子医療センターの承認を受け、ハイリスク分娩や新生児への高度医療を提供できるようになりました。開院以来の救急医療への貢献が評価され、2023年には練馬区で初めての三次救命救急センターとして承認を受け、重症救急患者さんを練馬区内で治療することができるようになりました。さらに、心臓血管外科を迎えて循環器内科と協力のもとハートセンター開設、脳卒中センターも順調に機能し、全分野においてより高度な医療を提供しております。

それと同時に大学病院としての教育にも注力し、2008年より初期臨床研修医の受入れを開始し、現在までおよそ600人の研修医の教育を行ってまいりました。

順天堂大学練馬病院は、今後も地域医療を担う大学病院として、周辺医療機関との連携のもと、患者さんへの心のこもった安全、安心で高度な医療を提供できるよう努力してまいります。さらに発展する当院へのご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願いいたします。

新任のごあいさつ

乳腺外科 きむら 木村 きよみ 聖美

このたび、乳腺外科診療科長に就任しました木村聖美と申します。

当科では乳腺に関する様々な診療を行っております。特に女性で最も多いがんである乳がんに対しましては、診断・手術・薬物療法・放射線治療を、医師・看護師・薬剤師等スタッフが一丸となって最適な治療法を提案できるよう努めています。

手術に関しましては、形成外科と連携した乳房再建術、薬物療法におきましては、新たな薬剤、再発リスク予測ツール、遺伝学的検査など選択肢が増えています。

患者さんの納得できる治療を順天堂医院や近隣施設とも連携して提供してまいります。



呼吸器外科 まえやしき 前屋舗 たつお 龍男

このたび、開院20年の節目に呼吸器外科診療科長を拝命した前屋舗龍男です。前任の阪野孝充先生が10年に渡って地域に頼りにされる病院としての礎を築かれました。引き続きスタッフ一丸となって、より信頼される病院となるように尽力していきます。

呼吸器外科では肺がんに対する外科治療を中心に縦隔腫瘍、気胸、膿胸と幅広い病気に対応しております。

また、ロボット支援下による低侵襲手術から胸腔鏡下手術、開胸による拡大手術まで、それぞれの患者さんにあっただきめ細やかな手術ならびに術前術後管理を心がけております。健診や人間ドックで胸に影があると言われたなどお困りのことがございましたらお気軽に相談ください。



新任のごあいさつ

脳神経外科 とくがわ 徳川 じょうじ 城治

前任の菱井が本年3月をもって定年退職となり、新たに科長を拝命いたしました徳川城治です。開院から20年で菱井が築き上げた伝統を引き継ぎ、さらに発展させるべく邁進してまいります。



脳神経外科は外科治療が必要な脳腫瘍、脳卒中、外傷のみならず、てんかん、頭痛など脳に関することは広く扱います。他科との連携、順天堂医院との連携、地域の先生方との連携もスムーズに行い、あらゆるニーズに適切に対処しております。安心、安全な医療の提供はもちろんのこと、診療、教育、研究という大学病院としての使命を果たしながら、新たなことにも挑戦していければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

歯科 やまむら 山村 よしこ 佳子

このたび、歯科診療科長に就任しました山村佳子と申します。これまで、口腔ケアをはじめとする口腔機能管理、口腔外科一般、障害者歯科治療に携わってきました。



近年、口腔内細菌と全身疾患との関連性が明らかになってきており、口腔管理の重要性が認識されるようになりました。特にがん治療開始前からの口腔管理は、がん治療中の菌性感染症発症のリスクを低下させることが分かっています。

当院歯科では、歯科衛生士2名とともに、手術前後の口腔ケア、がん薬物療法や放射線治療によって生じる口腔粘膜炎、顎骨壊死の予防や口腔管理、入院患者さんの歯科治療を行い、医科での治療をサポートできる診療を心掛けております。どうぞよろしくお願いいたします。

Interview

特定認定看護師・ 特定行為研修修了看護師

救急室

はんがい み え こ

半谷 美恵子さんに
インタビューしました!



当院では、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する特定認定看護師(日本看護協会認定)と、「特定行為に係る看護師の研修制度(厚生労働省)」を修了し、医師の指示を待たずに手順書に基づき、一定の診療補助を行うことができる特定行為研修修了看護師が活動しています。

お仕事の内容を教えてください

救急現場において、緊急性の判断や医師と連携し特定行為の実施、突然の出来事に混乱する患者さんやご家族の支援を行っています。また、看護職への指導や地域の皆さまへ向けた講座も行っています。

特定認定看護師を目指した きっかけを教えてください

尊敬する救急看護認定看護師の先輩に出会い、認定資格を取得しました。その後、より実践力をあげていきたいと思い特定行為研修を受講しました。

普段注意していることはなんですか?

自分の行っている看護が本当に患者さんやご家族にとって適切か、自分の知識と技術の範疇を超えていないかを常に考え判断し行動しています。

患者さんにひとこと!

緊迫しバタバタしている救急の現場ですが、患者さんやご家族が伝えたいことを伝えられる、一人ひとりに寄り添った看護師でありたいと思っています。



臨床検査のダイープな世界

臨床検査科 中村 香代子

傷病や健康状態を確認するために必要な**臨床検査**

今回は、心電図が長時間記録できる

「**ホルター心電図**」についてご紹介したいと思います

▶ ホルター心電図の歴史

持ち運びできる心電図なので「ホルター心電図」と勘違いされる方もいらっしゃいますが、「ホルター」は発明者の名前です。ホルター心電図は、アメリカの物理学者ノーマン・J・ホルターによって1950年代初頭に世界初のポータブル心電計として開発されました。

当時の装置は約40Kgもあり、リュックサックのように背負う必要がありました。現在は小型で50g程度と軽量化され、患者さんへの負担もかなり軽減されています。

▶ ホルター心電図でわかること

仕事、運動、睡眠などの日常生活の中での心電図変化をとらえることができます。動悸やめまいなどの症状があるのに、検査では異常がないことがあるかと思います。ホルター心電図なら長時間心電図を記録することで、発作時の不整脈をとらえることが可能になります。このような症状があれば、医師にご相談ください。



フクダ電子HP : <https://www.fukuda.co.jp/company/about/item02.html>

第18回軽井沢セミナーについて

職員課

2025年6月13日（金）～14日（土）にかけて、練馬区立少年自然の家「ベルデ軽井沢」を会場に「第18回軽井沢セミナー」を開催いたしました。本セミナーは当院の新入職員（臨床研修医、看護師、技師、事務職員など）の教育の一環として行われるセミナーで、練馬区と共催で開催している一大イベントです。新入職員の外、指導スタッフも含めて総勢約200名が参加し、1日目には全体講習や交流会、2日目には職種ごとのレクチャー・グループワークなどを行いました。いつもとは違った環境で研修を行うことでリフレッシュをすることができ、また職種の垣根を越えて親睦を深めることができました。

この軽井沢セミナーを通して、より一層「チーム練馬」としての団結が高まりました。



区民健康医学講座のお知らせ

地域医療連携室

毎回土曜日14時から会場+Web(Zoomウェビナー)で開催

順天堂大学練馬病院の区民健康医学講座は年間11回(8月は休会)開催しています。お蔭さまで、多くの方にご視聴いただき大変好評をいただいております。今後も皆さまからのご意見を参考にしながら、よりよい講座を企画してまいります。

7/26

Sat.

消化器内科

講師：医師 福生 有華

演題：大腸ってどんな臓器？

～大腸のしくみと病気のお話～

9/6

Sat.

膠原病・リウマチ内科

講師：医師 天野 浩文

演題：関節リウマチ診療の最新情報

～知っておきたい薬物療法や生活の工夫～

お申込み方法など詳細につきましては、病院内の掲示や病院ホームページ、区報・町内にある公設掲示板をご確認ください。練馬区外の方でもご参加いただけます。皆さまのご視聴をお待ちしております。



順天堂大学医学部附属練馬病院
広報誌「順天堂大学練馬病院ニュース」

第93号 2025.7

編集・発行 地域医療連携室

〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10

電話 03-5923-3111

URL <https://hosp-nerima.juntendo.ac.jp>



順天堂練馬病院
ホームページ